

WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

1月26日(木) 第26号
第2819回例会
第2510地区

●本日のロータリーソング 奉仕の理想

Rotary



年男の弁(2)

札幌東ロータリークラブ

本日のプログラム

丘珠空港の可能性について

(株)玄米酵素 相談役 道見重信氏

■斉藤 博之 会員

昨年の春に、父親が亡くなり喪中の新年を迎える年でした。昨年の葬儀の際には、多数の方に御迷惑をおかけして改めてここでお詫びさせていただきます。申し訳ありませんでした。

今年の3月で当社創業してから20年目に入ります。アパート六畳間の事務所からスタートして紆余曲折ありましたが、現在、職員が190名の会社になる事が出来ました。次の年男を迎える頃には、60才創立30年と考えると遙か彼方な遠い未来に感じます。今年迎えた12年と、これからの12年を考えますと途方もなく遠く今は感じますが、ロータリーの先輩の皆様から次の12年間の過ごし方を、御指導御鞭撻をお願い致します。



■福見 隼人 会員

私は1981(昭和56)年10月31日生まれて、今年36歳になります。昨年12月に高山会員より1月の第2週・第3週は忙しいの?と質問され、もしやこれはお仕事の話なのかと思いき空いていますと答えると、では年男の弁宜しく!と依頼されました。何の件かを言わないでスケジュールを押さえられ、人前でお話するのが苦手でしたので、一瞬躊躇しましたが二つ返事で受けさせて頂きました。

年男の弁、私が生まれた36年前がどういった時代なのか、少し調べてみました。スペースシャトル(コロンビア)の打上成功。千葉県船橋市で「ららぽーと」がオープン。カラス族やロックンロール族が流行し、トヨタのソアラが大流行した年でした。現在は、妻と2人の子どもと4人で生活しております。仕事は不動産業を営んでおり、今年で6年目に入りました。昨日から税務調査が入り、明日まで税務署の職員が会社におります。

札幌東ロータリークラブの入会は、矢橋会員の紹介で2014(平成26)年10月32歳の時でした。入会の理由は奉仕活動やボランティア活動をしてみたいという事が一番の入会理由です。今まで岩見沢市で行われたキッズキャンプや花園学院への訪問に参加しました。今後も微力ながらロータリークラブの一員として、頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



■宮本 典英 会員

伝統ある札幌東ロータリークラブでこのようなチャンスを与えていただき、誠に感謝しております。酉年のしかも大トリという大役でかなり緊張をしております。11月に4回目の年男となり48才になります。年男の弁は軽くお引き受けをしましたが高かまともならず、昨年、一昨年の会報を見返しました。皆さん旅行や趣味などの楽しい話が多かったのですが、私は今年の事業について話をさせてもらいます。

事業の方では燃焼機器を取り扱っている為今まではCO₂を発生させる仕事でしたが、今年はCO₂を削減させる事業に力をいれて行きたいと思っております。天ぷら廃油の事業も幅を広げ発電事業を行うべく設備認定の手続きをしており、早ければ3月には発電をできる見込です。この事業に関しては昨日HBCの取材を受け、明日の「今日ドキッ!」の枠内ですが17:00前後の時間帯で放送される予定です。工作中ですので見るのが難しい時間帯ですが、視聴していただければと嬉しいです。また北海道ガスとの協業で油のボイラーから天然ガスボイラーへの転換事業も力を入れて展開して行きます。

先週の年男の弁でも出たかもしれませんが、酉年とは秋をイメージしているようで、実った作物を刈り取る時期、事業で言うと育てた事業が成功する年というわけがあるそうです。以上を踏まえて、今年は申年は振り返らずに先輩の意見をとり込み、美味しいものを食べ過ぎて閑取みたいに太り過ぎないよう、ケッコーな年となるように頑張ります。

マンスリー
メモ

ロータリー青少年交換とは、15~19歳の青少年が、最長1年間にわたり母国以外の国へ交換留学する機会を提供するRIのプログラムです。